

## 集会案内

### 日曜日

礼拝 1:45pm-2:45pm

### 教会住所

c/o Grace Hills Church  
24521 Moulton Pkwy  
Aliso Viejo, CA 92637  
中庭の小さいチャペル

## 地図



### ホームページ

[www.irvinenihongokyoikai.org](http://www.irvinenihongokyoikai.org)

### 榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

### 杉村幸牧師

電話 (714) 234-4778

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石川 ■

「三十年目の感謝」②

そのチュウ教授からの電話で、この三月三日にトールレンスの韓国聖潔教会本部で感謝会を開きたいので、ぜひ夫婦でおいで下さい、というのである。僕は韓国料理がいただけるものと思い、参りますと即答したのだが、その日は孫娘のベビーシットが予定されていたので、妻の啓子は残り、僕だけが行くことになった。教会に着くと、三人の牧師と牧師夫人たちが花束を抱えて歓迎してくれた。それから暴動時に、オレンジ郡教会が献品を携えて韓国街に出かけた経緯を詳しくお話しした。チュウ教授は教会史が専門であり、戦前の日本ホーリネス教会監督の中田重治やカウマン夫妻の働きを知っていたので、そのことでも話が弾んだ。しばらくして、僕は今日、孫娘の世話をしなければならず長居はできないと言っていると、早速、予約していた日本食レストランに出かけることになり、僕のためにテイクアウトの配慮を下さった。聖潔教会のリーダーたちとの交わりは小一時間ほどであつたが、僕は言葉に表せない程の喜びを味わった。翌日、チュウ教授に感謝のメールを差し上げたところ、「少数ながらも韓国人たちはオレンジ郡教会の働きを決して忘れません」との望外の返信が届いた。

エステル記6章一〜二節に、「その夜、王は眠ることができなかったため、命じて日々の事をするした記録の書を持ってこさせ、王の前で読ませたが、その中に、モルデカイが王の侍従で、王のへやの戸を守る者のうちのビッグタナとテレシのふたりが、アハシエロス王を殺そうとねらっていることを告げた、とされる見いだした」とある。かつてエステルの叔父、モルデカイは、時に王を守るはずのビッグタナたちによって王の暗殺計画が企てられているのを知り、それを王妃となっていたエステルに告げ、彼女がモルデカイの名をもって王に伝えたことが記されていた。かつての出来事を思い起こさせ、王に感謝の思いを起こさせたのは神であり、それが後日、ユダヤ民族を撲滅から救う切っ掛けになったのだ。神のなされることは皆その時になつて美しい(伝道の書三・1)ではないか。三十年後に韓国人から再度、感謝を受けた今回の出来事とエステルの話では比べようもないが、しかし、眠れない夜は主がして下さったことを思い起こしてみるのも、乙なものではありませんか？

Rev. Tsukasa Sugimura

### 【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村幸牧師をはじめ、榊原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

### 【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。